

ふくおかのふくし

7月号
2010.122号



福岡県ふれあいとチャレンジの翼
ドルフィンプログラムを体験する親子と
見守る県社協職員（6月24日 沖縄県）

- 施設利用者の**安心・安全**を守るために
施設における災害対策
- 天神ロイヤルガーデン自主防災会
住民で守る 地域の安心・安全
- 新規事業 共助社会づくりに向けた市町村社協モデル指定
モデル社協として9市町 決定！
- 福祉・介護人材育成就業促進事業
募集人員を500人から600人にさらに増員
- 福岡県70歳現役社会づくり研究会
年齢にかかわらず、**元気で働きたい人が働くことができる社会**を目指して
- 第30回ふれあいとチャレンジの翼
真夏の沖縄でふれあいとチャレンジを体験



施設利用者の安心・安全を守るために

施設における災害対策

福岡県社協では、近年の度重なる集中豪雨や台風、地震、火災等の様々な災害に対処するため、社会福祉法人・施設の防災対策、そして災害時における対応策の推進を各種別協議会と連携して取り組むこととしました。

福岡県社協の 災害に対する取り組み

福岡県社協では、災害発生時に被災地に職員を派遣し、災害ボランティアコーディネーター等、災害復興支援を実施しています。

また、福岡県西方沖地震後、麻生渡福岡県知事の提唱による基金を活用した「防災士」の資格を職員28名が取得し、市町村社協における防災の取り組み支援を行っています。

種別協議会の

災害に対する取り組み

各種別の施設協議会では、福岡県西方沖地震の際に、避難所（九電体育館等）に施設職員を派遣し、被災者に対して施設のショートステイ、医療機関への通院送迎や介護職員等による介護支援等が行われました。

福岡県社協の災害復興支援活動状況

- 2004年 新潟・福井県梅雨前線豪雨被害
・三条市に派遣
新潟県中越大地震
・長岡市、栃尾市、十日町に派遣
- 2005年 福岡県西方沖地震
・災害ボランティアセンター本部設置
- 2006年 鹿児島県豪雨災害
・出水市、大口市に派遣
- 2007年 新潟中越沖地震
・柏崎市に派遣
- 2009年 中国・九州北部豪雨災害
・飯塚市、那珂川町に派遣

社会福祉施設委員会 専門委員会の設置

県内の社会福祉法人・施設全体の災害支援対策を実施するためには、前述のような防災・災害救援活動に積極的に取り組んできた経験と合わせて、各種別協議会と連携し、施設間のネットワークを最大限活かしていくことが不可欠です。

そのため、福岡県社協は、社会福祉施設委員会内に災害対策専門委員会を設置し、社会福祉法人・施設に

おける具体的な災害対策についての取り組みを推進します。
6月中旬から7月上旬にかけて、水害や土砂災害の危険性がないか現状把握のために県社協職員が施設訪問するとともに、各種別の委員会でも災害対策に対する施設の現状を聞き取りました。

聞き取りをさせていただいた施設からは、改めて災害対策の重要性を再確認したという声をいただきました。

今後、災害対策専門委員会でも、各施設に向けたアンケート調査について検討し、その結果をもとに、研究会等の開催や自主点検チェックリスト、避難マニュアルの作成・配布など施設の災害対策について具体的な展開を検討していきます。

個別訪問聞き取り調査 (11施設)

- ・児童養護施設
福岡子供の家（早良区）
- ・乳児院
みずほ乳児院（城南区）
- ・母子生活支援施設
サンフラワー京築（上毛町）
- ・特別養護老人ホーム
恵風苑（早良区）
第二長寿園（福智町）
- ・軽費老人ホーム
なかがわ苑（那珂川町）
- ・身体障害者入所授産施設
とりはた玄海園生活支援センター（戸畑区）
- ・身体障害者療護施設
ちづる園（門司区）
- ・知的障害者授産施設
蓮の実団地（八女市）
- ・知的障害者更生施設
つばさ学園（嘉麻市）
- ・救護施設
仁風園（大野城市）

【問合せ先】

福祉施設部 施設課
TEL092 (584) 3377

住民で守る 地域の安心・安全

天神ロイヤルガーデン自主防災会

災害はいつ起きるか分からないが、起きてからでは遅い。災害には、常日頃から備えることが重要です。福岡県社協では、災害の教訓を風化させることなく活かすために、地域住民同士で学び、情報交換しながら、防災対策を地域で行っている事例を紹介し、誰もが安心して生活できる地域づくりを応援します。

天神ロイヤルガーデン自主防災会

(福岡市) は、マンションの全住人108世帯270人が加入している自主防災組織です。(平成21年3月設立)

平成17年3月の福岡県西方沖地震でマンションが半壊したのをきっかけに住民が結束し、災害時要援護者名簿の作成や、互いの無事を知らせ合う「安全札」を用いた避難支援体制の確立など住民の安心・安全を守る活動を続けています。

助け合いのマンション 自主防災会で要援護者名簿作成

天神ロイヤルガーデンマンションは、福岡市中央区今泉にあります。

地下鉄七隈線薬院大通駅から徒歩2分、都心とは思えない閑静な環境

にあり、周辺には他のマンションも林立しています。

福岡県西方沖地震でマンションが半壊しましたが、住民が結束し、1年という稀に見る短期間で復旧工事と耐震補強を行い復興しました。



天神ロイヤルガーデン (15階建)



福岡県西方沖地震被害



周辺は都心とは思えない静かなたたずまい

その過程で培われた住民同士の情報交換が基となって、震災から4年目の平成21年3月20日に自主防災会

が立ち上がりました。

自主防災会は救出・救護、避難誘導、安全点検など計4部8班で構成されています。各班の役員が中心となり、住民台帳と詳細な要援護者リスト作成のための情報提供を呼びかけたところ、20日間という短期間で必要な情報が集まりました。

自主防災会の設立を提案したマンション管理組合の阿比留哲防災担当特任理事(防災会事務局長兼務)は、「要援護者の詳しい情報を申告した全世帯台帳が異例の速さで完備されたことは全居住者の理解と協力の賜物です。住民の中には65歳以上の高齢者も2割程おられ、中には心臓発作時の錠剤や高血圧を抑える降圧剤を常用していると申告された方もおられます。高齢であっても、要援護

者として申告していない方もおられ、自主防災会では、日頃から声かけや訪問、趣味の活動等を通じて要援護候補者として状態の把握に努めています。要援護者の状態は日々推移しています。昨年1年間で要援護候補者から要援護者に繰り入れられた方は9名に上りました。」と語られました。



テレビカメラが並んだ自主防災会設立総会 (平成21年3月20日)



日頃から趣味の活動で住民同士の絆づくりが大切 (住民による絵画教室)

住民同士で

安心・安全を守る活動を展開

自主防災会では、昨年11月に初の総合防災訓練を開催し、約80戸100人が参加しました。

震度6強の地震を想定した訓練では、救出が必要な部屋をすぐに判別できるように、けが人等のいない住民はドアの外に無事を知らせる札(安全札)を貼って避難するようにし

ました。この安全札は防災会で作成し、マンションに全戸配布しました。この避難訓練と並行して、周辺環境の安全点検や、救出・救護訓練なども実施しました。

この間、防災会では、総合訓練とは別に、炊き出し訓練も行いました。さらに昨年10月からは、毎月2回ずつの応急手当教室を開講し、35名の救急・救命の要員を育成し、昨年暮れには、福岡市消防局から「救命施設」として認定証を受けました。



安全札



炊き出し訓練 (平成 21 年 6 月)



応急手当教室



救命マークの授与式

福岡県防災賞受賞！

これらの活動と「実行性のある防災体制の確立」が高く評価され、平

成21年度の福岡県防災賞(団体部門)を受賞しました。この賞は防災事業の具体的実践、普及活動に貢献した団体、事業所、個人に贈られるもので、団体部門で県内唯一の受賞となりました。



福岡県防災賞受賞 (平成 22 年 3 月)



防水訓練 (平成 22 年 6 月)

自主防災会では、この受賞を通過点と考え、日々住民の安心・安全を守る取り組みを続けています。

6月20日に開催された防水訓練では、梅雨時期における豪雨に備えるため、地下の防水扉にビニールを貼ったり、土のう積み訓練を実施しました。

阿比留特任理事は、「マンションのような高層共同住宅では、このような助け合いの人間関係構築が不可欠。この活動を他のマンションでも普及させたい。」と語られました。

【問合せ先】

総務部 広報室
TEL092 (584) 3377

福岡県総合防災訓練

地域と連携して災害対策

福岡県は5月30日(日)に久留米市の筑後川左岸河川敷を主会場として、福岡県総合防災訓練を開催しました。訓練では、昨年7月の九州北部豪雨や、5年前の福岡県西方沖地震を想定し、筑後川流域という地域特性を踏まえた種目を重点的に実施しました。消防団、自衛隊や警察など、過去最大180の防災関係機関から約2,200人が参加し、風水害や地震、列車事故や生物・化学テロなどの特殊災害を想定した36種目の訓練が行われました。

住民参加型訓練の拡充

福岡県社協では、防災訓練に職員を派遣し、地元の社協や防災士会とともに、ボランティア本部設置運営訓練や避難所協働運営訓練を行いました。

訓練では、被災現場にボランティアを迅速に送り出すマッチングなどボランティア本部の設置運営や、避難所開設の図上訓練を行い、避難者の受入れや避難所の運営について演習を行いました。



ボランティア本部設置運営訓練



避難所開設図上訓練

【問合せ先】

地域福祉部 地域課
TEL092 (584) 3377

新規事業

共助社会づくりに向けた市町村社協モデル指定

モデル社協として9市町 決定！

福岡県社会福祉協議会では、先号で紹介した市町村社協モデル指定事業の助成先を9社協に決定し5月28日（金）に第1回指定社協連絡会を開催しました。

連絡会では、指定社協ごとにテーマに沿った今後の事業内容の説明と各社協の当面の活動目標を紹介し、情報交換を行いました。

テーマ1

合併した社協における小地域福祉活動の推進事業（糸島市）

糸島市 今年2月に合併した同市は民生委員や食生活改善推進会等の協力を得て、ひとり暮らし高齢者の集い及びひとり暮らしへの手作り弁当の配付を行い、各小学校区単位での推進組織の体制整備を行っています。



一人暮らし高齢者の集い（糸島市）

テーマ2

サロン活動を基盤とした小地域福祉活動の推進事業 （行橋市・朝倉市・鞍手町・大木町）

行橋市 いきいきサロン推進協議会のメンバーがサロン未設置地区へ出前講座を行うなど地域住民同士の支え合いの取り組みを実施します。

朝倉市 サロン専属ボランティアを養成し、サロンの活性化を図りながら、市内全域にサロン活動を広げていきます。

鞍手町・大木町 サロンボランティアを養成しながら、町やさまざまな関係機関、ボランティア団体と連携し、まずは、サロン活動の拡充を図っていきます。

このようなサロン活動の取り組みから見守り訪問活動等、共に助け合う仕組みを構築していきます。



いきいきサロン推進協議会（行橋市）



アミの会サロン（朝倉市）

テーマ3

高齢化が進んだ地域（限界集落等）における小地域福祉活動の推進事業（久留米市）

久留米市 市内の中でも高齢化が進んでいる青峰校区で、高齢者等へ買い物支援やゴミ出し支援などができる生活支援ボランティアを養成し、安心して住み続けられる地域づくりを目指します。



青峰校区高齢者の集い（久留米市）

テーマ4

一人暮らし高齢者世帯に対する見守り訪問活動の推進事業
（大牟田市・田川市）

大牟田市 2地区を指定し、隣近所15世帯程度を見守るふれあい活動推進員を養成し見守り体制の構築を図っていきます。

田川市 一人暮らしの方、見守りが必要とされる方を訪問調査した上で、個別台帳を整理し、民生委員を中心とした見守り訪問活動を展開していきます。



見守り訪問活動（田川市）

テーマ5

地域の実情に応じた生活課題解決のための小地域福祉活動推進事業（那珂川町）

那珂川町 傾聴ボランティア講座や団塊世代の地域デビュー講座を通して、若い世代など新たな人材養成に力を注ぎ、心身の状況や生活スタイルなどでつながりを持ちたくても持てない人が孤立しない仕組みを整えていきます。

糸島市では、地域福祉活動事業の推進に関する委員会を立ち上げ、二丈地区・志摩地区の民生委員児童委員協議会や食生活改善推進会に事業の説明を行っています。また、大木町では、2地区で既にサロン活動の世話人の方への説明会を行い、7月のサロン立ち上げに向けての準備が進められています。

本会では、9月に第2回指定社協連絡会を開催し、事業の進捗状況の確認・情報交換を行う予定です。具体的な取り組みについて随時本誌で情報発信していきます。

【問合せ先】

地域福祉部 地域課
TEL092(584)3377

福祉・介護人材育成就業促進事業

募集人員を500人から600人にさらに増員

介護関係の資格を持たない求職者を応援

福岡県社協が、福岡県から事業委託を受け、各種別施設協議会と協力しながら実施している福祉・介護人材育成就業促進事業は、介護関係の資格を持たない求職者の方を、介護施設へ「介護補助員」として6か月間派遣しながら、「ホームヘルパー養成研修2級課程」を受講していただくことで就労に結びつける事業です。

本事業は、県が派遣期間中の「介護補助員」の給与等を全額負担するなど、求職者はもちろん、受け入れ施設側にもメリットのある仕組みとなっており、事業の必要性が高く評価され、昨年、全国知事会が主催する「先進政策創造会議」で1,900件の中から「保健福祉・少子

高齢化分野」と「商工・労働分野」の優秀政策に選ばれ、表彰されました。

600名にさらに増員して実施

福岡県では介護補助員の雇用を当初の400名から500名に増員して実施しており、これまでに、581人が派遣決定しています。

福祉・介護人材育成就業促進事業

派遣決定状況

平成22年7月9日現在

申込者数 <small>(県社協申込数)</small>	618人
派遣決定者数 <small>(派遣受入目標達成率96.83%)</small>	581人
うち、正規雇用成立者数	177人



ホームヘルパー養成研修2級課程
(平成22年6月16日)

このうち、正規雇用成立者数は177人となっており、雇用対策と介護分野の人材確保に高い効果を出しています。

このため、福岡県では、500名の募集人員を600名にさらに増員して実施することとしました。

これを受けて、福岡県社協では、ホームヘルパー養成研修2級課程を追加実施し、県と施設と協力しながら、雇用の確保と介護分野の人材確保を実現していきます。

【本事業に関する問合せ先】

福岡県 福祉労働部 福祉総務課

TEL092(643)3243

【派遣受入申込先】

福岡県社協福祉施設部施設課

TEL092(584)3377

【求職(派遣登録)申込先】

マンパワー・ジャパン(株)

TEL0120(640)621

【研修に関する問合せ先】

福岡県社協研修部研修課

TEL092(584)3401

福岡県70歳現役社会づくり研究会

年齢にかかわらずなく、元気で働きたい人が働くことができる社会を目指して働くことができる社会を目指して

福岡県では、年齢にかかわらずなく、元気で働きたい人が働くことができる、活力ある高齢社会のモデル地域「70歳現役特区」の実現を目指し、「福岡県70歳現役社会づくり研究会」を設置し、6月30日に第1回目の会議を開催しました。

この研究会は、各分野の専門家や関係団体の代表者の方19人よって構成されており、福岡県社協平山良明会長も委員に就任しています。



会議で発言される麻生渡福岡県知事 (上)
第1回福岡県70歳現役社会づくり研究会 (下)

また、高齢者の雇用問題の第一人者である慶応義塾大学の清家篤塾長が研究会の顧問として就任されています。

第1回目の会議では、委員長に法政大学大学院の藤村博之教授を選出し、研究会の審議テーマと今後の進め方について確認が行われました。

○研究会の審議テーマ

- 年齢にかかわらずなく、元気で働きたい人が働くことができる「70歳現役社会」の実現に向けた仕組づくりとそのための施策について
- ・高齢化による基本的な社会構造の変化等（意識改革の推進）
 - ・雇用制度のあり方（企業における継続雇用の促進）
 - ・生涯職業能力の開発と多様な就労への支援（再就職支援）
 - ・高齢者自らの就業機会の創出（起業支援等）
 - ・施策の推進体制 等

今後、研究会では、10月をめどに麻生渡福岡県知事に結果を報告し、それをまとめて国に提言していきます。

【問合せ先】 福岡県 福祉労働部
労働局 新雇用開発課
TEL 092 (643) 3593

身体障害者入所授産施設 小富士園

まぶこころ込めて手づくりで

小富士園の陶芸品

身体障害者入所授産施設小富士園は、古くからの窯元やアートギャラリーが点在する芸術と自然あふれる糸島市にあります。

現在、入所者60人、通所者19人、20代から70代の男女が生活しながら、手作りの陶器、博多人形、部品加工等のものづくりに取り組んでいます。地域の学校やサークルなどを対象に陶芸教室や絵付け教室も行っており、地域との交流を図っています。博多人形や陶芸品は、童物や干支などを粘土から一つひとつ手づくりで製作しています。



手びねりで花器を作っているところ。左手前は完成品。



花器の底に撥水剤を塗る作業。一つひとつ丁寧に塗っていきます。

●小富士園の独自の製品と価格●

製品	価格
博多人形 (童物)	550円～
博多人形 (干支)	500円～
陶芸教室	20名以上 800円～
絵付け教室	20名以上 530円～



※ご注文はお電話またはメールにて
小富士園 TEL 092 (327) 0771
E-mail mail@kofuji.or.jp

第30回福岡県ふれあいとチャレンジの翼

真夏の沖縄でふれあいとチャレンジを体験

福岡県協では、日頃旅行の機会が得られない在宅障害児・者とその家族の方々に「空の旅」を体験していただく「福岡県ふれあいとチャレンジの翼」を実施しています。1981年の「国際障害者年」に始まった本事業は、今年度で30回目となりました。今年度もスターカップ九州大会会長の上杉昌也氏からの多額のご寄付をはじめ、西日本新聞、民生事業団、日本赤十字社福岡県支部、全日本空輸株式会社等、多くの方々にご支援・ご協力をいただき開催しました。

今年度は、6月23日（水）から25日（金）にかけて、県内13市町の16作業所等から、障害児者41名、その家族・作業所等関係者26名と医療スタッフ3名、県職員1名、福岡県社協役員21名の、総勢92名が真夏の沖縄へ旅立ちました。

1日目 福岡空港

福岡空港での「結団式」には、団員全員が、西日本新聞民生事業団から贈られたおそろいのTシャツを着て臨みました。

主催者あいさつで、「ふれあいとチャレンジの翼」の団長である隈本英臣福岡県社協常務理事が、「大変多くの方のご協力をいただき、30回目を迎えました。1日目の交流会では、ス

ターカップ九州大会の上杉会長も参加して皆さんと一緒に30回の記念を祝っていたできます。」とあいさつを行うと、本事業の支援者であるスターカップ九州大会上杉昌也会長から「今は厳しい時代ですが、障害者の皆さんにはこの瞬間を大切に、一生懸命生きていただきたい。」と激励の言葉が送られました。



スターカップ九州大会上杉昌也会長

また、海老井悦子福岡県副知事が、麻生渡福岡県知事からの温かい励ましのメッセージを送ると、参加者を代表し、小山翔子さん（障がい者デ

イサービス青空）が「たくさん仲間と仲良くし、心に残る旅にします。」と元気にあいさつをしました。続いて参加者を代表し、山元久生さん（障がい者デイサービス太陽）から感謝の気持ちを含めた花束を上杉会長へ贈呈し、一行は沖縄へ出発しました。

歓迎セレモニー 那覇空港

歓迎セレモニーでは、沖縄県社協の方やSOLA沖縄学園のボランティアの皆さんに、あたたかな笑顔で迎えていただき、嶋田泰子さん（パルハウスぼちぼち）から、沖縄県社協の比嘉成和常務理事に記念品を贈呈しました。

おきなわワールド 南城市

「ふれあいとチャレンジの翼」の一行は、バスで南城市のおきなわワールドに向かいました。



「紅型」体験



琉球衣装を着て記念写真

したり、琉球王朝時代の衣装を着て写真撮影をするなど、沖縄の文化・歴史・生活の知恵を満喫しました。

交流会（夕食）

南城市

交流会（夕食）では、スターカップ九州大会上杉会長に参加いただき、沖縄県内の障害児者「きら星エイサー隊」によるエイサーの披露と交

流が行われました。

色とりどりの民族衣装に身を包んだ沖縄の障害児者30名が、勇壮な太鼓の音に合わせて、沖縄の伝統芸能「エイサー」を踊ると、参加者も楽しんで一緒に踊り、写真を撮りました。



2日目 首里城・守礼の門 那覇市

2日目は、琉球王朝のシンボルで世界遺産でもある首里城を見学しました。守礼の門で記念撮影をした後、



首里城正殿へ向かいました。

首里城正殿は歴史を感じる朱色の建物で、空の青と正殿の朱色が印象的でした。

ドルフィンプログラム・海水浴 国頭郡恩納村

2日目の宿泊先の「ルネッサンス・リゾート・オキナワ」ホテルに到着後、西日本新聞民生事業団から贈られたおそろいのTシャツに着替えて、みんな楽しみにしていたドルフィンプログラム・海水浴に出発しました。

ドルフィンプログラムでは、イルカと握手をしたり、



イルカの躍動感ある動きに感動したり、貴重な体験をしました。

次に、キラキラ輝く太陽の下、透き通ったプライベートビーチで海水浴にチャレンジしました。

沖縄の自然にふれあい、充実感で心と体に元気が湧いてきました。



3日目 ちゅみ 美ら海水族館 国頭郡本部町

美ら海水族館では、かわいい熱帯魚からジンベイザメやマンタの群れまで大小様々な魚を鑑賞し、沖縄のダイナミックな海の世界を満喫しました。

お別れセレモニー 那覇空港

お別れセレモニーでは、倉本雅一さん（なおみの会）が、参加者を代表してボランティアの皆さんにお礼の言葉を述べました。

3日間一緒に過ごし、語り合った SOLA 沖縄学園のボランティアのみなさんと写真を撮ったり、抱き合ったりして、みんなでお別れを惜しまれました。



【問合せ先】

地域福祉部 生きがいづくり課
TEL092 (584) 1401

ハートがつなぐ地域の輪

…赤い羽根共同募金



平成22年度赤い羽根キャッチフレーズ最優秀作
 楠橋 かおり さん (16)
 福岡県立八幡中央高等学校 1年 (北九州市)

平成22年度赤い羽根バッジデザイン最優秀作
 中野 由加里 さん (14)
 宮若市立宮田光陵中学校 3年 (宮若市)

平成22年度赤い羽根キャッチフレーズ・バッジデザイン最優秀作決定

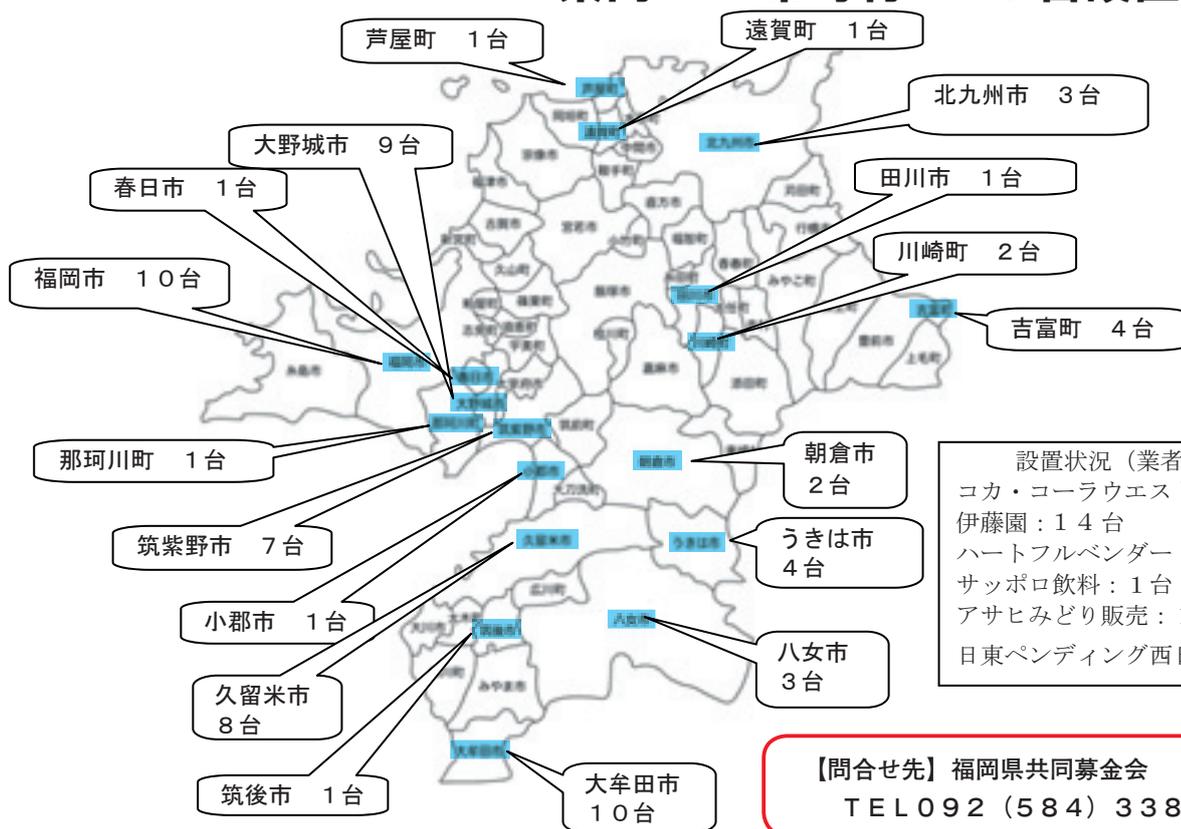
福岡県共同募金会では、10月1日から始まる赤い羽根共同募金運動のシンボルとなる「バッジデザイン」・「キャッチフレーズ」を募集しました。

応募いただいたバッジデザイン3,576点、キャッチフレーズ2,435点の作品を共同募金推進委員会で厳正に審査し、最優秀作が決定しました。

本年度の赤い羽根共同募金運動では、このバッジデザイン・キャッチフレーズを活用し、皆さんのあたたかな「たすけあいの心」を広げていきます。

赤い羽根自販機

県内18市町村 69台設置中!



設置状況 (業者別)
 コカ・コーラウエスト: 49台
 伊藤園: 14台
 ハートフルベンダー: 3台
 サッポロ飲料: 1台
 アサヒみどり販売: 1台
 日東ペンディング西日本: 1台

【問合せ先】福岡県共同募金会
 TEL 092 (584) 3388

エスアイエナジー株式会社様から、 福岡県共同募金会へのご寄付

6月3日、エスアイエナジー株式会社様から、福岡県共同募金会に20万円のご寄付をいただきました。

いただいた浄財は配分委員会を通じて、地域の身近な福祉活動に役立てさせていただきます。エスアイエナジー株式会社様ありがとうございました。



エスアイエナジー株西森取締役社長 (左)
 福岡県共同募金会隈本常務理事 (右)

一人ひとりの希望にあった介護サービスの選択を目指して 平成22年度 介護サービス情報公表制度

介護サービスや事業所・施設を選ぶ際は、介護サービス情報の公表制度を利用して、事業所・施設等の情報を参考に、ご希望にあった介護サービスをお選びください。

平成22年度 調査票様式グループ及び調査対象サービス一覧

サービス名	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	対象事業所数
居宅介護支援	800	347						1147
訪問入浴介護+介護予防訪問入浴介護		55						55
訪問看護+介護予防訪問看護+（療養通所介護）		224						224
通所介護+認知症対応型通所介護+介護予防通所介護+介護予防認知症対応型通所介護+（療養通所介護）			841	360				1201
特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）+地域密着型特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）+介護予防特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）+特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム・外部サービス利用型）+介護予防特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム・外部サービス利用型）					183			183
特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム）+地域密着型特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム）+介護予防特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム）+特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム・外部サービス利用型）+介護予防特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム・外部サービス利用型）					23			23
介護老人福祉施設+短期入所生活介護+介護予防短期入所生活介護+地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護					249			249
訪問介護+介護予防訪問介護+夜間対応型訪問介護						850	322	1172
介護療養型医療施設+短期入所療養介護（介護療養型医療施設）+介護予防短期入所療養介護（介護療養型医療施設）		99						99
訪問リハビリテーション+介護予防訪問リハビリテーション		140						140
福祉用具貸与+特定福祉用具販売+介護予防福祉用具貸与+特定介護予防福祉用具販売					200			200
介護老人保健施設+短期入所療養介護（介護老人保健施設）+介護予防短期入所療養介護（介護老人保健施設）							161	161
通所リハビリテーション+介護予防通所リハビリテーション+（療養通所介護）							394	394
特定施設入居者生活介護（適合高齢者専用賃貸住宅）+特定施設入居者生活介護（適合高齢者専用賃貸住宅・外部サービス利用型）+地域密着型特定施設入居者生活介護（適合高齢者専用賃貸住宅）+介護予防特定施設入居者生活介護（適合高齢者専用賃貸住宅）+介護予防特定施設入居者生活介護（適合高齢者専用賃貸住宅・外部サービス利用型）								0
小規模多機能型居宅介護+介護予防小規模多機能型居宅介護					126			126
認知症対応型共同生活介護+介護予防認知症対応型共同生活介護				480	47			527
合計	800	865	841	840	828	850	877	5901

介護サービス情報公表制度

平成18年度からはじまった「介護サービス情報公表」制度は、事業者が提供する介護サービスの内容や運営状況などの情報をインターネット等で広く公表することで、利用される皆様が自分にあったより良い事業者を選択できるよう支援する仕組みです。

【問合せ先】 介護サービス情報公表センター 情報公表課

<http://www.fsw.or.jp/kohyo/top.html> TEL 092-584-3600 FAX 092-584-3605

様々な研修を実施しています。

会福祉施設の種別、職種ごとの専門研修、資格取得のための研修など様々な研修会を実施しています。

【児童福祉施設関係研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
家庭相談員研修	6月17日	家庭児童相談員の職務遂行に必要な専門的知識を学ぶ。	家庭児童相談員、児童相談所職員及び児童福祉施設職員
児童福祉施設・児童館職員等研修	9月中旬	各専門職の職務遂行に必要な専門的知識等を学ぶ。	児童館・児童センター及び児童養護施設・母子生活支援施設・乳児院・児童相談所の職員

【障害者福祉施設関係研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
相談支援従事者初任者研修（5日間）	9月7日～11月19日	相談支援専門員としての必要な基礎的知識を学ぶ。	相談支援専門員及びサービス管理責任者となる者、相談支援事業に従事しようとする者、市町村及び県保健福祉環境事務所職員等
障害者施設職員研修	9月	障害者施設職員の職務遂行に必要な専門的知識を学ぶ。	障害者福祉施設職員
処遇記録研修（障害者分野）	10月中旬	施設職員が施設利用者の処遇記録等をする際の専門的知識・技術（記録の目的、ポイント、視点の捉え方、文章の書き方、介護記録の書き方等）を学ぶ。	身体障害者福祉施設・知的障害者福祉施設

【資格取得試験のための準備対策講座】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会（6日間、模擬試験）	7月4日～9月4日	家庭児童相談員の職務遂行に必要な専門的知識を学ぶ。	

【民生委員児童委員研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
民生委員児童委員研修	1月中旬～2月下旬	民生委員児童委員に必要な知識や技術を学ぶ。	

【介護支援専門員専門研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
介護支援専門員専門・更新研修（専門Ⅰ・更新前期 5日間）	7月4日～8月4日	介護支援専門員として、必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持、向上を図る。（更新制：5年間）	介護支援専門員証の有効期限が平成23年3月31日及び平成24年3月31日までの介護支援専門員として従事したことがある方、又は従事している方
介護支援専門員更新研修（実務未経験者向け更新・再研修 7日間）	8月27日～10月23日	介護支援専門員として、必要な専門的知識及び技術を学ぶ。	介護支援専門員として従事したことがない方、介護支援専門員証の有効期限が切れた方
介護支援専門員実務研修（7日間）	1月下旬～3月中旬	介護支援専門員として、実務に就くため必要な知識や技術を学ぶ	介護支援専門員実務研修受講試験合格者



<課題研修>



<相談支援従事者初任者研修>



<介護支援専門員実務者研修>



<処遇記録研修>

問合せ先

福岡県社会福祉協議会 研修部 研修課
TEL092-584-3401 FAX092-584-3402

福祉サービスの向上を目指して、

福岡県社会福祉協議会では、社会福祉施設等に就いている方々を対象とした幅広い階層別研修や社

【種別共通研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
新任職員研修	5月7日～5月21日 2日間×4コース	社会人として仕事を円滑に進めていくために求められる基本的知識と技術を学ぶ。	社会福祉施設の新任職員 (経験年数の目安：2年未満)
課題研修	5月26日～6月11日 3日間×3コース	職員を指導するにあたり必要な知識（部下指導の必要性、職場の現状分析、OJTの定義・展開の手順、OJT計画書の作成方法）などを学ぶ。	おおむね5年以上の勤務経験を有する社会福祉施設職員で、指導する立場にある者（施設長を除く）
管理系研修	8月23日・24日	社会福祉事業及び社会福祉法人経営に必要な専門的知識等を学ぶ	社会福祉法人の理事長及び法人運営に携わる役員、社会福祉施設の施設長及び施設長に準じる職員
基礎研修	9月上旬	中堅職員に必要な知識や技術、利用者と援助者との関係形成に必要なコミュニケーションの基本的考え方や実践のための技術について学ぶ。	おおむね2年以上5年未満の勤務経験を有する社会福祉施設の職員
事務職員研修	10月下旬	「社会福祉法人会計基準」の具体的事務処理など職務遂行に必要な専門的知識を学ぶ。	社会福祉施設において資産管理、会計管理等の事務処理に従事する職員

【高齢者施設関係研修】

研修名	開催時期（予定含）	目的と内容	対象者
認知症介護実践者研修 (6日間)	前期：5月31日～ 6月24日 後期：1月	認知症高齢者の処遇、介護に関する知識の習得及び技術の向上を図り、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実のために必要な知識や技術を学ぶ。	介護保険施設、事業所等に就く介護職員、計画作成担当者に就任予定の者
訪問介護適正実施研修	6月8日～29日 2日間×5コース	サービス提供責任者として、職務遂行に必要な専門的知識及び技術を学ぶ。	指定訪問介護事業所におけるサービス提供責任者
処遇記録研修（高齢者分野）	6月30日・7月5日	施設職員が、施設利用者の処遇記録等をする際の専門的知識・技術（記録の目的、ポイント、視点の捉え方、文章の書き方、介護記録の書き方等）を学ぶ。	介護老人福祉施設・介護老人保健施設・認知症対応型共同生活介護事業所
身体拘束廃止推進員養成研修 (3日間)	7月8日・30日 10月5日	身体拘束廃止に関する必要な専門的知識と技術を学ぶ	介護保険施設及び介護付有料老人ホームの介護主任等、身体拘束廃止の取組を施設内で指導的立場から推進することができる職員
認知症対応型サービス 事業管理者研修（2日間）	前期：7月22日・23日 後期：2月	認知症高齢者の処遇、介護に関する知識の習得及び技術の向上を図り、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実のために必要な知識や技術を学ぶ。	グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型通所介護事業所の管理者に就任予定の者
小規模多機能型サービス等計画 作成担当者研修（2日間）	前期：7月13日・16日 後期：2月		小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者に就任予定の者
認知症対応型サービス 事業開設者研修（2日間）	前期：7月27日・28日 後期：2月	認知症介護に係る基本的な知識及び認知症対応型サービス事業の運営に必要な知識を学ぶ。	グループホーム又は小規模多機能型居宅介護事業所の法人代表者
認知症介護実践リーダー 研修（10日間）	9月上旬～11月下旬	実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成する。	介護保険施設において概ね5年以上の経験を有し、認知症介護実践者研修を修了し、1年以上経過している者
社会福祉施設役職員研修 (生活相談員コース)	8月19日・20日		県内社会福祉法人が運営する老人福祉施設の生活相談員
社会福祉施設役職員研修 (介護職員コース)	10月	各専門職の職務遂行に必要な専門的知識等を学ぶ。	県内老人福祉施設の介護職員
社会福祉施設役職員研修 (看護職員コース)	10月		県内老人福祉施設の看護職員
在宅福祉担当職員研修 (デイサービス・ホームヘルパー 現任者)	10月～11月	各専門職の職務遂行に必要な専門的知識等を学ぶ。	県内の社会福祉法人が運営する老人福祉施設、市町村社会福祉協議会の通所介護事業所職員及び訪問介護事業所のホームヘルパー
社会福祉施設役職員研修 (給食担当職員コース)	10月中旬	各専門職の職務遂行に必要な専門的知識等を学ぶ。	県内社会福祉法人が運営する老人福祉施設の栄養士・調理員
身体拘束廃止看護職員研修 (3日間)	10月下旬～11月下旬	身体拘束廃止に関する必要な専門的知識と技術を学ぶ	介護保険施設及び介護付有料老人ホームの看護職員で、身体拘束廃止の取組を施設内で指導的立場から推進することができる職員

江蘇省障害者連合会表敬訪問

江蘇省から訪問団14名が来日

福岡県八女郡広川町の社会福祉法人筑陽会（知的障害者施設赤坂園）と中華人民共和国江蘇省障害者連合会は約20年に渡り、福祉交流を行っています。

平成22年6月7日から12日までの6日間、筑陽会が、江蘇省障害者連合会から訪日視察を受け、胡乃亮団長をはじめとする14名の訪問団が来日しました。

6月9日（水）、江蘇省障害者連合会の14名は、福岡県社協を訪れ、県内の社会福祉情勢について尋ねるとともに生涯安心住宅や福祉用具展示室を見学しました。

その後、江蘇省障害者連合会と社会福祉法人筑陽会及び福岡県社協を含む19名は福岡県庁を表敬訪問しました。

表敬訪問では、海老井悦子副知事が、「今回の訪問を機会に日本の地域の福祉・文化・暮らしなどに触れ



海老井悦子副知事



挨拶をする胡乃亮団長（中央）



ていただき、日本についての理解を深めていただければと思います。」と激励の言葉を送りました。

【問合せ先】

総務部 総務課

TEL092(584)3377

（株）ハローデイ様からの寄付金贈呈

高齢者の元気づくり

役立てます



福岡県社協は、株式会社ハローデイ（代表取締役社長 加治敬通様 本社北九州市小倉南区）から2,029,000円のご寄付をいただきました。

同社では、消費者が各店舗に設置された6種類の寄付先から、希望するものを選んでレシートを投函する消費者参加型の寄付を実施しています。投函されたレシートについてい

るポイントに応じて、同社の利益の一部である1,000万円を分配し6団体に寄付することとなっています。

5月20日に春日市のクローバープラザで贈呈式が行われ、仲村浩一 同社営業本部長取締役から隈本英臣 福岡県社協常務理事へ目録が贈呈され、本会から感謝状を贈りました。

県社協では、この寄付金を高齢者の元気づくりと介護予防の推進を目的としたふれあい・いきいきサロン活動の普及やボランティアの養成などに有効に活用させていただきます。

株式会社ハローデイの皆様、本当にありがとうございます。



ハローデイ株式会社仲村浩一営業本部長 取締役（左）
福岡県社協隈本英臣常務理事（右）

【問合せ先】

総務部 総務課

TEL092(584)3377

第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭

合唱フェスティバル参加者募集

響け！ねんりんの歌声！

第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭の一環として、11月15日（月）に大野城市のまどかピアでは、昨年引き続き、春日交響楽団の協力を得て、オリジナル合唱団による合唱フェスティバルを行います。

現在、大会実行委員会事務局では、合唱フェスティバルの参加者を募集しています。（定員100名）

○参加者募集

県内在住の60歳以上の方

○練習会場

クローバープラザ（春日市）

※月2～3回の練習会を行います。

たくさんのご応募お待ちしております。



6月26日に開催された発会式

生きがいづくり、仲間づくりの契機として合唱の素晴らしさを体験してみませんか。合唱未経験の方でも大歓迎です。

【問合せ先】

地域福祉部 生きがいづくり課
TEL092 (584) 1401

おじいちゃんおばあちゃんの絵コンクール

大好きなおじいちゃん

おばあちゃんを描こう！

「第10回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭」の文化イベントの1つとして開催される「おじいちゃん・おばあちゃんの絵」コンクールは、夏休みの自由課題としてしている小学校もあり、年々定着しています。福岡県内の小学生を対象に、祖父母や曾祖父、あるいは、大好きなお年寄りの元気な姿や、一緒に遊んだ思い出などの作品を募集しています。（過去の出来事や記憶に基づくものでも構いません）

【応募方法】

各小学校ごとに取りまとめのうえ、応募作品を送付してください。

【応募期間】 ※消印有効

平成22年7月21日（水）～

平成22年9月17日（金）

【展示期間】

平成22年11月13日（土）～

平成22年11月14日（日）

※優秀作品のほか、入賞作品を展示します。

【展示会場】

クローバープラザ（春日市）

〈昨年の最優秀作品 1年生の部〉



「はたけをたがやすおじいちゃん」
行橋市立泉小学校 星加修吾くん

【問合せ先】

地域福祉部 生きがいづくり課
TEL092 (584) 1401

第58回九州児童福祉施設職員研究大会

「支える 子どももたちの思い」

ともに哀しみ、ともに怒り、ともに喜び、ともに生きる

九州社会福祉協議会連合会、九社連児童養護施設協議会、福岡県児童養護施設協議会、福岡県社協では、6月14日からの3日間、北九州市のリーガロイヤルホテル小倉で九州児童福祉施設職員研究大会を開催し、九州各県の児童福祉施設職員並びに関係者350名が参加しました。

開会式では、福岡県 福祉労働部 西田有明次長が、麻生渡福岡県知事のメッセージを代読し、「児童福祉施設の皆様には、子ども達の心のケア、家族に対する助言指導など昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいています。本大会の研究・研鑽



福岡県児童養護施設協議会西田会長



九社連児童養護施設協議会井上会長



九社連会長表彰代表授与



福岡県福祉労働部 西田次長



北九州市 柴田部長



厚生労働省雇用均等・児童家庭局 宮腰課長補佐



内田産婦人科医院 内田助産師

【問合せ先】

福祉施設部 施設課
TEL092(584)3377

を通じてよりきめ細やかなケアや専門性の向上を目指していきましよう。」と激励と感謝の言葉を送りました。

大会では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局による中央情勢説明や、内田産婦人科医院 助産師の内田美智子氏による基調講演、5つの研究テーマに沿った部会や元プロ野球選手 若菜嘉晴氏の記念講演等が行われました。

児童養護施設に

九州納豆組合様から納豆の奇贈

納豆のプレゼント！

九州納豆組合は、7月10日の納豆の日になみ、平成5年から毎年児童福祉施設に納豆を寄贈されています。

18回目となる今年は、7月9日に、春日市のクローバープラザで贈呈式が行われました。

贈呈式では、株式会社丸美屋 新事業開拓室 藤本日出人室長から、「未来を担う子ども達の夏バテ防止のために味わって食べてください。」とあいさつをいただき、マルキン食品株式会社 元島和彦執行役員営業本部長から、福岡県内の児童福祉施設を代表して出席した双葉学園の子ども達に納豆が贈られました。

福岡県社協副会長であり、福岡県児童養護施設協議会の西田稔夫会長は、「今年も納豆をいただきありがとうございます。納豆は施設の子ども達に元気を与えてくれます。」とお礼の言葉を述べられました。



福岡県社協副会長・福岡県児童養護施設協議会 西田会長



株式会社丸美屋新事業開拓室 藤本室長



マルキン食品株式会社元島執行役員営業本部長から納豆を贈呈。

この活動は、全国24地域の納豆組合が、夏の体力回復と納豆の普及を目的に行っており、今年は、4,830個の納豆が福岡県内84か所の児童福祉施設に寄贈されました。

【問合せ先】

福祉人材・情報部 人材・情報課
TEL092(584)3330

相談あれこれ

このページは、Q & A形式で、法律に関わる、高齢者の生活問題について取り上げ、それに対する対応策や制度について紹介します。

Q

息子が通帳を預かり、生活必需品も買えない。

87歳になる友人に、同居している息子さんに通帳を預かられ、日用品も買えないと相談されました。どう対応したらよいでしょうか？

高齢者の経済的虐待について

高齢者に対する虐待の一つといえます。いわゆる高齢者虐待防止法は、身体的虐待、心理的虐待、放任行為、性的虐待のほか、経済的虐待を規定しています。

高齢者にとって、年金が入る通帳や貯蓄の通帳は高齢者の自立した生活を支えるものであり、とても大事なものです。

このような場合、息子さんとの別居や通帳を返してもらうことが期待できない場合には、早めに、自治体の福祉窓口（地域包括センターなど）に相談をして虐待対応をすることが考えられます。その上で、金融機関の口座を変更することや社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の利用、弁護士への財産管理委託契約等を検討しましょう。

成年後見制度について

高齢者になると認知症になったりして、自分で身の回りのことができなくなり、財産を管理する能力が低下することがあります。このようなとき、民法は能力の低下の程度に従って本人を支援する、補助、保佐、後見の3類型を定めました。

後見人は本人の身上監護と財産管理を行うのが主な業務です。高齢者虐待の場合にも成年後見制度を活用することが期待されています。

息子さんの虐待が著しい場合には、高齢者虐待防止法や、老人福祉法等を利用して分離を試みる一方で、後見申立を検討しましょう。本人や4親等内の親族による申立ができますが、申立が期待できない場合には、市町村長申立もできますので、地域包括支援センターなどの関係機関に相談してみてください。もちろん、成年後見制度は身体障害を除く障害者にも適用ある制度です。

A 自分らしく安心して暮らせるように

法律相談

【問合せ先】 福岡県社協 福祉振興部 相談課
相談日 毎週水曜日
相談時間 13:00～16:00（予約制）
TEL 092-584-3344

高齢者サークル紹介

脳を鍛えていつまでも若々しく!!

緑ヶ浜区さくら会

今回は、新宮町で活動している勉強サークル「緑ヶ浜区さくら会」を紹介します。

緑ヶ浜区さくら会は、平成20年3月に、長年教育に携われてきた後藤信子さん（88歳）を中心に発足したサークルで、「ずるずると年を重ねるのではなく、ゆつくりと年を重ねていく」をモットーに活動しています。

60歳代～80歳代の女性9名のメンバーが、緑ヶ浜区公民館で、毎月第1・第3金曜日に活動しています。

取材に伺った日は、50回目の節日の会でした。

緑ヶ浜区さくら会では、毎回後藤さんの指導のもと、文章や数字を音読する秒数を測ったり、決められた時間内にどれだけ漢字の書き取りができるか、単語を暗記できるかなど、脳を活性化するための勉強をしています。

参加されている方は「始めたころは、なかなかスムーズに音読できなかったり、暗記できる単語の数も少なかったのですが、少しずつできる



答え合わせは楽しく!

ようになり、今は低下しないように頑張っています。後藤先生におだてられながら、みんな楽しく刺激し合いながら勉強しています。」と話します。

後藤さんは、「この会を始める時、『皆さんの役に立つ会にしよう』『今日も楽しかった、この次も楽しくやりましょう』という集まりにしたいと願い、私自身ももう一度勉強しました。

みなさんも、回を重ねるごとに、やろうという意欲が増えてきて、予習をしてきたり、お風呂で数を数える練習をしたり、新聞で分からない単語があれば調べたりという習慣がついてきました。

能力を維持するには続けることが大切です。
一人では続かないことも、仲間と一緒に楽しくすれば続きます。時に仲間には自分では出せない力を引き出してもらっています。これからも元気に続けていきたいです。」と笑顔で話してくれました。



緑ヶ浜区さくら会のみなさん



集中して真剣に考えます

【問合せ先】

地域福祉部 生きがいづくり課
TEL092 (584) 1401

お知らせ 掲示板

* 7月から10月の行事予定について紹介します。

お知らせします

平成22年福岡県介護支援専門員実務
研修受講試験について

試験日時 平成22年10月24日(日)

午前10時から

試験会場 福岡大学(福岡市城南区)・

福岡教育大学(宗像市)・九州女子大

学(北九州市八幡西区)

受験申込受付期間

平成22年7月1日(木)から7月31日(土)(最終日消印有効)

受験申込要領配布期間

平成22年6月25日(金)から7月30日(金)まで

受験申込要領配布場所

県庁介護保険課(北棟2階)、県の保健福祉(環境)事務所、北九州市各区役所(保健福祉課介護保健係)及び出張所、福岡市各区保健福祉センター(福祉・介護保健課)及び出張所、大牟田市役所(長寿社会推進課)アクロス福岡2階文化観光情報ひろば、福岡市役所1階福岡市情報プラザ

※これらの場所で受領することが困難で、郵便による送付を希望する場合は、宛先及び連絡先を明記し、かつ240円の切手を貼ったA4サイズの返信用封筒を同封した封書(表に「試験申込要領及び願書の郵送希望」と朱書き)を福岡県介護保険課宛に送付してください。

(宛先) ①812-8577

福岡市博多区東公園7-7 福岡県介護保険課

合格発表

平成22年12月10日(金)
受験資格 保健・福祉・医療分野で通算5年かつ900日以上(業務によつては10年かつ1,800日以上)

の実務経験を有する者。

申込方法 受験申込要領に添えられている申込用封筒を用い、郵便(簡

易書留)で提出すること(郵送のみ
の受付)

申込・問合せ先

福岡県保健医療介護部 介護保険課
指定育成係

TEL092(643)3322

募集します

週刊「福祉新聞」創刊2500号記念
写真コンテスト募集について

目的

福祉新聞では、創刊2500号を記念して写真コンテストを行います。施設の利用者・職員の笑顔、地域でのふれあいなど、暮らしの中にある「楽しいひととき」を送ってください。

テーマ「楽しいひととき」

応募規定 どなたでも応募できます。1人につき1点、未発表の作品に限ります。原則はカラー写真(モノクロ写真でも受け付けます。)とし、プリント写真のサイズはL版以上、デジタル写真はJPEG形式で保存してください。

応募方法

郵送の場合は、応募用紙に記入し、写真を添えて、問い合わせ先の住所まで郵送してください。

メールの場合は、メールの本文に、必要事項【撮影年月、撮影場所、写真の内容(100字以内)。氏名(ふりがな)、年齢、職業、住所、電話番号】

を記入し、問い合わせ先のアドレスまで写真を送信してください。

賞

最優秀賞 1点賞金10万円、賞状

副賞(福祉新聞セレクト美味セット)

優秀賞 数点副賞(福祉新聞セレクト美味セット)

締め切り 8月31日(火) 当日消印有効

審査・発表

審査委員会による審査の上、選定します。入賞作品は10月11日号の福祉新聞およびホームページに掲載されます。入賞者には別途通知いたします。

応募上の注意点

入賞作品は福祉新聞およびホームページに掲載されますので被写体には必ず承諾を得てから応募してください。写真の著作権は(株)福祉新聞社に帰属します。なお、写真は返却いたしません。審査内容に関するお問い合わせには応じかねます。写真および応募における個人情報、本コンテストにかかる通知等以外の目的に使用することはありません。

問い合わせ先

(株)福祉新聞社 写真コンテスト係

①105-0001 東京都港区虎ノ門

1-16-17 虎ノ門センタービル6階

TEL03(3581)0431

メール photo@fukushishimbun.co.jp

URL <http://www.fukushishimbun.co.jp>

社会福祉施設総合損害補償

しせつの 損害補償



ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設の
さまざまなリスクに対応

プラン1

施設の業務中事故 賠償補償

- ① 基本補償
 - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合でも、基本補償(A)に加え見舞金も補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含む)に補償
 - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

プラン2

施設利用者の傷害事故補償

- ① 入所型施設利用者
- ② 通所型施設利用者
- ③ 不特定多数利用者

プラン3

施設送迎車搭乗中の 傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 自動車保険など、他の保険と関係なく補償

プラン4

施設職員の災害事故補償

- ① 施設の労災上乗せ補償
労災加入職員等全員が対象
- ② 施設職員の傷害事故補償
役職員や実習生等を対象
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償
常勤のみならず非常勤職員も対象とするタイプもあります。

プラン5

施設の什器・備品 損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆ 加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため、個別契約より有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧、かつ適正なお支払い

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記をお願いします。

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

(SJ07-11869.2008.2.27作成)

● この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

 この広報紙は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。